

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	(柏)令和7年6月29日(日)・令和7年9月14日(日) (東金)令和7年6月22日(日)・令和7年9月15日(月・祝) (香取)令和7年6月15日(日)・令和7年9月15日(月・祝) (君津)令和7年6月22日(日)・令和7年8月31日(日) (鴨川)令和7年6月8日(日)・令和7年9月14日(日)																										
事業名	高校生のためのボランティア講座																										
趣 旨	高校生がボランティア体験を通して多様な他者や社会と関わることにより、自己の在り方・生き方を見つめ直すとともに、ボランティアに関する知識や理解を深め今後のボランティア活動に取り組む動機付けとすることをねらいとする。また、自発的・主体的に地域に根ざしたボランティアを体験することにより自らが生活している地域に目を向けさせる。																										
会 場	(柏)さわやかちば県民プラザ (東金)県立東金青少年自然の家 (香取)県立水郷小見川青少年自然の家 (君津)君津市生涯学習交流センター (鴨川)県立鴨川青少年自然の家																										
対 象	・県内に在住、または県内の高等学校に通学していること。 ・ボランティア活動に対して意欲・関心を持っていること。 ・原則として、希望する1会場の全日程(2日間)及びボランティア体験に参加できること。																										
申込方法	各高等学校の担当職員が受講生をとりまとめ、当所ホームページより申込む。																										
募集定員	(柏)50名 (他会場)30名	募集期間	令和7年4月12日から令和7年5月15日																								
参加者数	140名	参加費用	無料																								
講師 等	神田外語大学 石井雅章 氏・ディープデモクラシーセンター 加納基成 氏 南流山子ども食堂 金川聡美 氏・千葉県ユニセフ協会 福本朋子 氏・伊東栄美子 氏 敬愛大学・敬愛短期大学 地域連携センター 藤森孝幸 氏 他17名																										
実施内容	主催: さわやかちば県民プラザ・県立水郷小見川青少年自然の家 県立君津亀山青少年自然の家・県立鴨川青少年自然の家 参加人数: <table><tr><td></td><td>応募</td><td>第1回</td><td>第2回</td></tr><tr><td>柏</td><td>54名</td><td>49名</td><td>28名</td></tr><tr><td>東金</td><td>12名</td><td>12名</td><td>12名</td></tr><tr><td>香取</td><td>24名</td><td>22名</td><td>19名</td></tr><tr><td>君津</td><td>21名</td><td>13名</td><td>12名</td></tr><tr><td>鴨川</td><td>32名</td><td>27名</td><td>18名</td></tr></table> 日程: 10:00~16:00(各会場、各回共通)				応募	第1回	第2回	柏	54名	49名	28名	東金	12名	12名	12名	香取	24名	22名	19名	君津	21名	13名	12名	鴨川	32名	27名	18名
	応募	第1回	第2回																								
柏	54名	49名	28名																								
東金	12名	12名	12名																								
香取	24名	22名	19名																								
君津	21名	13名	12名																								
鴨川	32名	27名	18名																								

	   ボランティア基礎講座 パラスポーツ体験 ソフトフェンシング ボランティア体験発表
参加者 アンケート	【満足度 99.1 %】 ○普通に生活をしていたら聞けないようなお話を聞けて参加して良かったと感じた。参加する前は、何となくボランティアに対して、苦手意識を持っていたが、講義を通して楽しいものだと感じた。自分の活動が少しでも誰かの役に立ってくれれば嬉しいと感じる。貴重な時間をありがとうございました。 ○各自が自分なりに考えて発表する機会が設けられており、各自がボランティアについて深く考える機会になったと思います。 ○有意義な時間が過ごせたと感じた。ワークショップが自分のためにもなったし、知らない高校生ともコミュニケーションが自然と取れて良かったと思う。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「多様な他者や社会と関わる事」を通して「自己の在り方・生き方を見つめ直す」こと、「ボランティアに関する知識や理解を深め今後のボランティア活動に取り組む動機付けとすること」について、各講座において、受講生が新たな知識を習得し、日頃の活動などを見つめ直すきっかけとすることができた。 ・受講生を対象に実施したアンケートについては、満足度が全会場全講座の平均で99%と高い結果が得られた。 ・各会場において、体験や活動を含む講座を設定し、受講生が理解しやすい内容が多く設定できた。 ・活動等を通して、受講生同士が意見交換や交流などをする機会もあり、他者に関わり理解することについても実践することができた。 【課題・今後の方向性】 ・令和7年度から各会場2回の講座実施とし、夏季休業中に1回以上のボランティアに参加したことをレポートとして提出する形で展開したが、第2回の出席率が非常に悪い結果となった。担当の教員へのリマインドを複数回行ったが、同じ高校の受講者がまとまって欠席するケースが多かった。受講者の募集や担当の教員との連絡方法そのものを見直す必要があると考える。 ・今年度で閉所する東金会場の運営も行ったが、出席率100%に加え、体験発表の様子から本講座の趣旨に合致したものであったと感じる。この東金会場のあり方を他会場にも共有することで、より良い講座づくりをしていきたい。 ・次年度は東金青少年自然の家の閉所に伴い、東金会場に代わり千葉会場の設定を検討しているが、自然の家で行うような実習系の活動が受講生にとって魅力になるものであると思うので、会場に合わせた講師や内容等の検討を進めていく必要があると考える。